

年 頭 所 感

一般社団法人日本アルミニウム合金協会
会 長 北 山 悟

令和4年の新春を迎えるにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。



会員の皆様方並びに関係各位の皆様におかれましては、本協会の運営に際しご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和3年の我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつあるものの、引き続き持ち直しの動きに弱さがみられる、厳しい状況となりました。

アルミニウム二次合金の需要を支えてきた我が国の自動車メーカーの国内生産は、新型コロナウイルス感染症の影響から回復しつつも、年初から半導体不足の影響を受け、加えて夏場からは東南アジアからの部品供給の不足によって大きく減速し、経済産業省の統計で直近の10月は単月で前年比29%減、1月から10月までの10か月間で前年比2.3%の減となりました。

二次合金の国内需要の8割を占める鋳物・ダイカスト製品の生産量は、経済産業省の統計で直近の10月は単月で前年比24%減、1月から10月までの10か月間の生産量で前年比13%増となりました。

一方で、我が国の国内需要の一部を担ってきた中国からの二次合金は、中国国内の需要の拡大と原料となる輸入スクラップに対する環境規制の進展の中で、1月から11月までの11か月間の輸入量が前年比27%減、2019年以前の同期間の輸入量と比べても1/3以下と大きく減少しております。

この中国から輸入塊の減少による代替需要もあり、国内の二次合金の生産は、本年上半期は2019年を上回る状況となりましたが、その後の自動車生産の減少により、協会の統計で直近の11月は単月で前年比4%減、1月から11月までの11か月間の生産量が前年比16%増となりました。

当業界の経営面では、二次合金需要が回復する過程で、原料の値上げが先行し、加えて金属シリコンなどの添加材の値上がりの影響を受け、製品の販売価

格の是正に追われる厳しい経営環境となりましたが、会員各社の努力により、製品価格と原料価格の価格差は何とか確保できているのではないかと見ております。

令和4年につきましては、感染症による下振れリスクや金融資本市場の変動等の影響を抱えておりますが、大手需要先である自動車メーカーの生産回復にあわせて二次合金の需要も上向きで推移すると思われ、当業界においても、新型コロナウイルス感染症からの回復を期待したいところです。

しかし、今後を見通すと、カーボンニュートラルへの対応に加え、これまでアルミニウム二次合金の需要を支えてきた自動車産業は、100年に一度の変革期を迎えているといわれ、今後、自動車を構成する部品が大きく変わることが見込まれております。アルミニウムについては、これからも自動車の軽量化への対応が期待されており、当業界としても、車体部品や足回り部品等への用途拡大のため、新たな材料開発などの取り組みが重要となっております。

さらに、労働力の確保のための安全安心で魅力ある職場づくりや安定的な操業の維持のためにも労働災害の防止に努める必要があり、アルミスクラップ資源の海外への流出、リサイクル機能を担っていく中での産業廃棄物処理等の環境問題にも課題があると考えます。

しかし、地球環境保全が人類に必須かつ喫緊の課題となっている中で、重要基礎素材であるアルミニウム二次合金の安定供給とアルミニウムリサイクルの一翼を担う当業界の果たすべき役割と責任の重要性はこれまでと同様に揺るぎないものと確信しているところです。

協会と致しましては、新型コロナウイルスとの間合いを図りつつ、可能な限り平時に近い形で行事を実施するとともに、引き続き、経済や環境対策などに関する施策や関連する情報の早期の収集、伝達に努め、個別企業では対応が困難な諸問題に取り組んで参る所存です。

最後になりましたが、関係各位の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げるとともに、皆様のますますのご発展とご健勝を祈念いたしまして私の年頭の挨拶とさせていただきます。